

2018年度 小委員会活動成果報告

(2019年2月14日作成)

| | | | |
|---------------------------|--|---|--------------------------|
| 小委員会名 | FRP合成構造設計指針小委員会 | | 主査名：松本幸大 就任年月：2018年4月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会) | | 委員長名：塩原 等 主査名：堺 純一 |
| 設置期間 | 2018年4月 ～ 2020年3月 | | |
| 設置目的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>長寿命・軽量・高強度な新構造材FRP材料を用いた建築合成構造を設計する際に必要な、設計法について検討し、構造設計者等がFRP材料を用いた構造要素の設計が可能となるような刊行物を執筆・出版することを目的としている。</p> <p>初年度：書籍原稿の執筆を進める。</p> <p>2年度：書籍の脱稿・査読終了を行い、セミナー・講習会などを開催する。</p> | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：無 | | |
| | <p>主査：松本幸大(豊橋技術科学大学)</p> <p>幹事：米丸啓介(清水建設)</p> <p>委員：金久保利之(筑波大学), 馬場望(大阪工業大学), 宮内靖昌(大阪工業大学), 福元敏之(鹿島建設), 金田勝徳(構造計画プラス・ワン), 萩尾浩也(大林組), 小宮巖(福井ファイバーテック), 西田賢二(AGCマテックス), 有山伸之(大成建設), 松井孝洋(東レ), 立石寧俊(清水建設), 持田泰秀(立命館大学), 高橋治(東京理科大学)</p> | | |
| 設置WG (WG名:目的) | | | |
| 2018年度予算 | 140,000円 | ホームページ公開の有無：有 委員会HPアドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s34/ | |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 4回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <p>1. 刊行物『(仮称)FRP合成構造設計指針(案)』の執筆を進め、基本的な章構成である、1. 基本事項/2. 材料および許容応力度/3. 接合設計/4. 設計例について概ね内容が固まった。</p> <p>2. 最新のFRPの成形技術・耐熱技術・応用事例・耐久性に関する技術動向、調査報告に関して、材料メーカーより委員会での報告の場を設け聴取し、刊行物への反映を進めた。</p> <p>3. 土木学会や強化プラスチック協会で開催されたシンポジウムに出席し、建築分野におけるFRP材を用いた構造物の調査事例や設計方針などの周知を行った。</p> |
| 委員会活動の問題点・課題 | <p>1. 実務者が用いることを想定した、設計応用が可能な『FRP合成構造設計指針(案)』の構成内容および原稿推敲を進めたが、例題などの拡充にはいたらなかった。</p> <p>2. 土木学会・強化プラスチック協会との協力体制は進められたが、複合材料学会などとも協力体制を築く必要がある。</p> |